

令和4年度 自己評価結果公表シート

学校法人 阪口学園 美鳩幼稚園

1、本園の教育目標

教育方針「清く・明るく・たくましく」

- ◎基本的な生活習慣や道徳心を育てる
- ◎思考力、創造性や豊かな情操を培う
- ◎知・情・体 三位一体の総合教育を行う

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

新型コロナウイルス対応のため、いまだに例年同様の活動ができない状況が続いている。このような状況下でも幼児の育ちを確保するために、前年度に引き続き保育内容の精選、行事内容の見直しに取り組むとともに、家庭との連携を深めるための保護者への情報提供の方法を検討する。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
保育内容の精選・ 行事内容の見直し	新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、これまで実施できなかった万博公園への親子遠足、海遊館への卒園遠足などの園外保育や、警察署・消防署との連携による防犯、防災、防火教室を開催した。
こどもの育ちの確保に向けた取り組み	前年度に年少児を対象にしたムーブ・トゥー・ラーン早期介入プログラムを今年度は年中児も対象とし、通常の保育時間内に導入した。
インターネットを活用した 保護者との連携・情報提供の強化	ICT補助金を活用し、保護者への連絡、登降園管理、欠席連絡、預かり保育申し込みなどができるスマートフォン・アプリを導入した。また、前年度に引き続き、保育の様子をYouTubeにより配信したり、「今日一枚」としてInstagramやFacebookで紹介するなどの情報発信にも取り組んだ。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルスへの対応が続く中、可能な範囲で行事を再開するなど、子どもたちの育ちの確保のため、精一杯の取り組みを行った。動画や画像を通して保護者との連携を深める試みも好評であった。また、スマートフォン・アプリの導入により、登園時間帯にあった欠席連絡、預かり保育申し込みの電話連絡がなくなり、業務改善につながった。保護者からも、通話中で何度も電話を掛け直すことが不要になり、また記録に残るので確認しやすいという反響があり、導入の成果が感じられる。

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育内容の精選	保育中に使用しているワーク、ドリル等の教材について、幼児の発達状況、経験の変化に対応する形での見直し、精選に取り組む。
家庭との連携の強化	引き続き園の保育内容を保護者へ発信すると同時に、保護者との連携を深められるような活動についても検討する。
子どもの発達を確保する 取り組み	幼児を取り巻く生活環境の変化により、これまで当たり前のように思われていた経験が十分にできず、例えば「ひねる」「ねじる」など手指の器用さなどに影響があるように感じられる。家庭で不足している経験を、保育の中に取り入れていく試みについて、引き続き検討していく。